

第40回宮崎県女子駅伝競走大会  
新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

宮崎陸上競技協会  
宮崎日日新聞社

## 1. はじめに

宮崎陸上競技協会と宮崎日日新聞社は「第40回宮崎県女子駅伝競走大会」の開催にあたり、本ガイドラインを作成しました。本大会は、選手の皆様が安全に競技に取り組めるように、新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策を徹底した大会運営を目指します。本ガイドラインは、「ロードレース再開についてのガイドランス(第4版)2022年10月17日改定」(日本陸上競技連盟)などに基づき作成しています。なお、今後政府や行政からの要請等により、内容を変更する場合がありますのでご留意ください。

## 2. 基本方針

主催者(宮崎陸上競技協会、宮崎日日新聞社)は以下を基本として新型コロナウイルス感染対策(以下、単に「対策」ということがある)を講じる。

- (1) 主催者が委嘱した医師からの知見、助言
- (2) 政府、行政からの方針、対応
- (3) 他団体の示す各種ガイドライン、対応マニュアル

上記(1)から(3)を踏まえて主催者は以下①～⑥の項目を実践する。

- ① 3つの密(密閉、密集、密接)を避ける対策を徹底する。
- ② フィジカルディスタンスの確保に努める。
- ③ 本ガイドラインにおいて、特段の定めがない限りマスク着用を行う。
- ④ 会場では検温やこまめな手洗い、手指消毒を行い、咳エチケットを徹底する。
- ⑤ 競技者、チーム・行政関係者、大会関係者、取材者は体調チェックと検温を自己管理で行うこと。

※詳細は「4.競技者、チーム、大会関係者、取材者の健康状態(体調)の管理」参照

- ⑥ 主催者は関係者(競技者、チーム・行政関係者、大会関係者、取材者)から感染の有無について出来る限り情報を収集し、対策の効果について検証するよう努める。

## 3. 感染症予防対策

### (1) 出場の制限

本県出身者の場合、県外からの参加者を認める。その際は各都道府県陸上競技協会の登録者であること。(尚、申込書に宮崎県に在籍していた最終学歴の学校を記入すること)また、宮崎県内に在住・在学していない県外選手は宮崎入りの際にPCR検査を受け、陰性証明書を監督会議受付時(1月28日午後3時・日南総合運動公園多目的体育館多目的室)までに事務局へメールで送付、もしくは提出すること。

## (2)開会式

行わない。ただし監督会議は 2023年1月28日(土) 午後3時から日南総合運動公園多目的体育館多目的室で行い、優勝旗、日南市長杯、日南市議会議長杯、日南市教育長杯の返還を兼ねる。参加は各チーム2名以内。

## (3)表彰式

表彰対象者のみで行う。表彰対象者は1位～3位チーム全員と4位～6位チームの代表者、区間賞・未来賞受賞者とする。

## (4)スタート・ゴール

- ①周囲とのフィジカルディスタンスの確保を呼びかける。
- ②アルコール消毒液を配置し、選手ならびに競技関係者にこまめな手指の消毒を促す。
- ③マスクの着用を徹底する。運動中以外は選手もマスクを着用する。
- ④ゴミ箱を設置しないため、ゴミは各自持ち帰るように周知する。

## (5)中継所

- ①選手、大会関係者以外は中継所付近への立ち入りを禁止する。②アルコール消毒液を配置し、選手ならびに競技関係者にこまめな手指の消毒を促す。
- ②マスクの着用を徹底する。バス移動中も含め、運動中以外は選手もマスクを着用する。レース後の選手には主催者がマスクを配布する。
- ③ゴミ箱を設置しないため、ゴミは各自持ち帰るように周知する。

## (6)広報

宮崎日日新聞紙面、ホームページなどを活用し、大会を告知する。競技中は広報車が沿道の観客へ声援の自粛、密集・密接の回避、マスクの着用を呼びかける。

## (7)コース沿道

大会関係者(走路員)が密集・密接にならないような配置にする。また観戦者にもフィジカルディスタンスの確保を呼びかける。

## (8)新型コロナウイルス感染症対策室の設置

日本陸上競技連盟のガイダンスに則り、感染症に関する施策の策定や意思決定等を行う合議体である「新型コロナウイルス感染症対策室」を設置する。構成員は競技運営関係者や医師、保健師など。感染症予防対策や、感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した際の対応をする。

## ■構成員

藤井晃治(大会参与・日南市陸上競技協会会長)

串間敦郎(大会委員長・宮崎陸上競技協会理事長・宮崎県立看護大学教授)

濱中伸太(日南市産業経済部観光・スポーツ課長クルーズ振興室長)

吉岡智子(大会副委員長・宮崎日日新聞社イベント事業局長)

川野彰裕(宮崎陸上競技協会医事委員長・医師・日本スポーツ協会公認スポーツドクター)

当日派遣保健師(日南市保健福祉部保健師)

#### 4. 競技者、チーム、大会関係者、取材者の健康状態(体調)の管理

(1) 競技者、チーム、大会関係者、取材者は、大会 1 週間前から体調チェックと検温を自己管理で行うこと。提出義務はないが、大会当日までに記録を集めておくこと。取得した個人情報(体調管理チェックシート)の保管は大会終了後少なくとも 1 か月とする。体調管理チェックシートは主催者でも用意するが、様式は問わない。

※以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること

- ① 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ③ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域などへの渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 競技者、チーム、大会関係者、取材者は、大会終了後 2 週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、診療所(かかりつけ医)などに相談後、必ず主催者に報告すること。

#### 5. 感染者及び感染疑い者が確認された場合の対応

大会当日ならびに大会終了後 2 週間以内に選手、大会関係者に感染者及び感染疑い者が確認された場合、感染症対策室で対応について協議し、下記の通り対応する。

##### (1) 大会当日

他の選手・関係者から隔離した上で、医師または看護師の指導のもと慎重に対応し保健所に連絡、その指示に従う。

##### (2) 大会終了後 2 週間以内

速やかに大会事務局に報告を求め、保健所に連絡し、その指示に従う。

#### 6. 大会参加可否の判断基準について

(1) 新型コロナウイルス感染症対策室は当該チームの大会参加について協議及び対応を決定するにあたり、以下の事項を総合的に判断する。なお判断にあたっては、チーム内での集団感染が疑われるか否かを重要視する。

- ① 感染人数、感染が疑われる者の人数(濃厚接触者)
- ② 感染者、感染が疑われる者以外の再検査の結果
- ③ 感染経路
- ④ 感染者、感染が疑われる者とそれ以外の関係者の接触状況
- ⑤ その他

(2) 新型コロナウイルス感染症対策室がチーム内での集団感染ではなく個別の事案と判断した場合、当該選手を入れ替えるなどの対応をすることとし、大会参加を差し止めることはしない。

#### 7. 競技者、チーム、取材者の健康状態(体調)の管理

(1) 競技者、チーム、大会関係者、取材者の参加・従事の可否について

※原則として行政、学校や企業等の所属の対応方針を優先すること  
以下の事項に該当する場合は来場及び出場を辞退すること。

- ①大会当日の体温が 37.5° を超えている場合、または倦怠感がある場合、または息苦しさがある場合
- ②大会当日、同居家族や身近な知人が感染している、または感染が疑われる状態にある場合

#### (2) コロナ陽性が判明した場合の対応

症状のある場合は大会開催日の 11 日前(2023 年 1 月 18 日)、症状がない場合は大会開催日の 9 日前(2023 年 1 月 20 日)の時点もしくはそれ以降に PCR 検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、当該ランナーは参加を辞退するまたは、主催者による出場権利の取り消しを行う。

#### (3) 濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合、7 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない選手の出場を認めても構わない。

濃厚接触者である同居家族の待機期間は、以下の内いずれか遅い日を 0 日目とし、5 日間(6 日目解除)となる。

▼陽性者の発症日(検査陽性者が無症状の場合は検体採取日)

▼住居内で感染対策(感染対策とは日常生活を送る上で可能な範囲での、マスク着用、手洗い・手指消毒の実施等の対策)を講じた日

待機期間中に同居家族等が発症した場合はその発症日を 0 日目として起算しなおす。無症状であった検査陽性者が発症した場合は、その発症日を 0 日目として起算しなおす。濃厚接触者である同居家族等については、待機解除後も陽性者の療養期間が終わるまでは健康状態の確認や、リスクの高い場所の利用や会食等を避ける、マスクを着用する等の感染対策を実施すること。

#### (4) 感染疑い者への対応

感染疑い症状のある者は厚生労働省の薬事承認をうけた抗原定性検査キットを使用し、検査すること。また、陰性証明書を監督会議受付時(1月28日午後3時:日南総合運動公園多目的体育館多目的室)に提出すること。ただし、以下①、②の両方の条件を満たしている場合は出場を認める。

①感染疑い症状の発症後に少なくとも 8 日が経過している。※発症日を 0 日目として 8 日間のこと

②薬剤を服用していない状態で、解熱後及び症状消失後に少なくとも 3 日が経過している ※解熱日・症状消失日を 0 日目として 3 日間のこと

※感染疑い症状とは

▼息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

▼重症化しやすい方(高齢者、糖尿病・心不全・呼吸疾患(COPD 等)等の基礎疾患がある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方)で、発熱や咳等の比較的軽い風邪の症状がある場合

▼上記以外の方で「発熱や咳など比較的軽い風邪の症状」が続く場合(症状が 4 日以上続く場合は必ず、「強い症状」と思う場合にはすぐに相談を。解熱剤等を飲み続けなければならない方も同様)

### 8. 参加チーム(選手、監督、コーチ)の対策

- (1) 競技前後のこまめな手洗いと手指消毒を励行する。
- (2) 運動中以外はマスクを着用する。
- (3) 飲み物やタオルなどの共用・兼用を回避する。

- (4) 待機場所等での密集・密接は極力避ける。(フィジカルディスタンスの確保)
- (5) 声を出しての応援は自粛し、拍手での応援を基本とする。
- (6) チームの帯同者は最小限にし、応援は自粛する。
- (7) バス移動する場合は適宜換気を行い、人と人との間隔を空けて座る。
- (8) 食事を行う場合は人と人との間隔(できるだけ 2m、最低 1m)を空け、対面になることを避け、黙食する。

#### 9. 競技役員・中継所役員

- (1) こまめな手洗いと手指消毒を励行する。
- (2) 常時マスクを着用する。
- (3) スタート・中継所・ゴールの競技関連エリアへの立ち入りを最小限とし、フィジカルディスタンスを確保する。

#### 10. 沿道での観戦について

- (1) 観戦する場合はマスクを着用し、咳エチケットを遵守する。声を出しての応援は自粛し、拍手での応援を基本とする。
- (2) 周囲とのフィジカルディスタンスを確保する。

#### 【お問い合わせ】

第 40 回宮崎県女子駅伝競走大会事務局  
(宮崎日日新聞社事業部内)

〒880-8570 宮崎市高千穂通 1-1-33

電話:0985-26-9303 FAX:0985-29-5276

E-mail: jyoshi-ekiden@the-miyanichi.co.jp